

資料作成費とは・・・調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費として支出します。主に会派として使用する文房具や用紙、インク等の印刷代、印刷機等の事務機器のリース代や購入費など、その他資料の音訳化や点字化等の翻訳料等にも支出します。

自民クラブ

私達、自民クラブは平成十九年に新しく結成した一年目の会派です。構成は三人です。

全員で協議を重ねて、会派の基本方針や活動計画を決め、五月にスタートいたしました。

メンバーの健康事情などもあり、この一年は十分な活動とは言えない活動結果となりました。活動の一つとして、議会報告「自民クラブ」を毎議会後に発行する事にいたしました。

編集、印刷、発行、配布すべてを行い、手作り新聞で報告をし、市民の身近な市政を目指していきます。

創刊号から第四号まで（写真参照）発行する事が出来ました。

◎会派の視察研修については、テーマを決め盛岡市、秋田県小坂町を訪ねました。

視察研修のテーマは

一、盛岡市では「花と緑のガーデン都市づくり事業」

二、秋田県小坂町では「バイオマス構想の実施状況」

議会報告 「自民クラブ」

第一号から第四号まで



自民クラブ 政務調査費収支報告書

(単位 円)

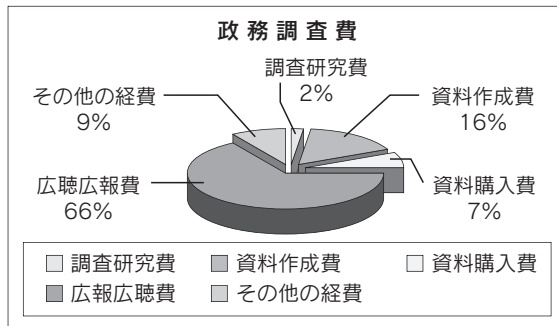
収入	2,640,000
支出	
研究研修費	31,890
調査研究費	154,000
資料作成費	366,498
資料購入費	453,898
広報広聴費	156,478
人件費	80,000
合計	1,242,764
残額	1,397,236

資料購入費とは・・・調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費として支出します。主に新聞、書籍、各種情報誌等の購入費や購読料に支出できますが、スポーツ紙、一般週刊誌等には支出できません。また会派のインターネット使用料（接続料・プロバイダ料）等にも支出します。

民主党議員団

私たち民主党議員団は二人会派です。

十九年度は五月から翌年三月までの政務調査費として、百七十六万円（一人月・八万円）交付されました。



交付金

の多くは資料作成費、二十八万五千八百六十三円（十六パーセント）。広報費、百二十万五千二百二十五円（六十六パーセント）に使用しました。

政務調査費の約八十二パーセントを議会通信『プレス民主』に使われています。

民主党議員団は多くの方々に『今』の議会を知っていただくため、議会ご

とに、民主党議会通信『プレス民主』を発行しています。

また、昨年は、研究研修費及び調査旅費への支出が、二万八千九百九十円（二パーセント）と少なかったが、民主党議員団としては四年間の中で、テーマを決めて調査研究していきたいと考えています。

インターネット等の利用で、それぞれの施設や施策の大まかなものは情報として、手にすることができません。しかし、現地に向いて実際に担当職員の話や、市民の協働の様子等を伺う事で、今後の川越市の政策として、生かせるかと確信しています。

科目	金額(円)	備考
調査研究費	28,190	視察旅費
資料作成費	285,863	リソグラフィース代・他
資料購入費	131,907	各種新聞・書籍
広報広聴費	1,205,225	通信・他
その他の経費	158,201	電話代(PC用)・事務用品
合計	1,809,386	

市民クラブ

市民クラブでは十九年度の政務調査費で左記の活動をさせて頂きました。

十九年度は選挙後の年だったこともあり、結果的に共に遠距離の視察や会合に行く機会が少なく、研究研修費や調査研究費の割合が少ない結果となりましたが、その中では、自治体改革や自治体の財政改革に関する研修会へ積極的に参加しました。資料購入費としては法律・財政・予算に関する本や、川越の歴史に関する書籍を多く購入しました。支出の多くを占める広報広聴費は、市民への議会・活動報告である「市民通信」と「グリーンズ川越」の二つの紙面作成費用となっております。二十年度は出来る限り他市の事例も現場に足を運び、お話を伺い、学びたいと思っております。特に、教育や自治体改革の分野では先進的な自治体へ伺い勉強したいと思っております。そして、その内容は、皆様にしっかりとご報告し、今度は同じ分野で川越市が視察される市になることを目指し取り組んで参ります。



「市民通信」と「グリーンズ川越」

収入	1,761,348(単位 円)		
	(月8万円×2人)×11ヶ月+利息		主な支出例
支出	研究研修費	42,290	研修会参加費
	調査研究費	5,000	研究活動時の交通費
	資料作成費	32,739	文具・インク代
	資料購入費	208,465	書籍購入費
	広報広聴費	988,880	広報誌印刷費
	人件費	50,000	調査補助者手当
	その他経費	0	
	合計	1,327,374	
残額(返還分)		433,974	

広報広聴費とは・・・調査研究活動、議会活動及び政策等について住民に報告・PR並びに要望、意見を聴するために要する経費として支出します。主に広報誌、報告書等の印刷製本費、新聞折り込み代金や送付費用、また公聴会開催の会場費等に支出しますが、固定・携帯電話代等には支出できません。

市民フォーラム

□平成十九年四月に行われた統一地方選挙(川越市議会議員選挙)後に三期当選の牛窪多喜男議員と二期当選の高橋剛議員が新党派「市民フォーラム」を立ち上げました。

福祉、環境、教育、経済の考え方で一致点の多い両者が、力を合わせて市民の付託に答えるべく手を握り合うことになりました。

政務調査費の活用については、盲目である牛窪議員にとって資料読み上げの費用に多くを活用しています。しかし、事前の高橋議員との打ち合わせによつて膨大な資料の絞込みができるようになり、議員の仕事がはかどるようになりました。

高橋議員は、書籍を始め、調査資料の購入に費用を当てるとともに、調査を踏まえた議会活動の報告のために「議会報告」作成の費用に調査費をあてました。

昨年十二月の定例市議会において、災害弱者の支援のためのリスト作りを提案し、災害時において乳幼児、妊婦

人件費とは・・・調査研究活動を補助する為に雇用された者に対し賃金等として支出しますが、三親等内親族に対する支出は認めません。

高齢者、障害者などからなる災害弱者をどのように安全に導くか、一般質問を行いました。その結果、平成二十年三月の川越市一般会計予算に組み込まれることとなりました。

今後とも安心安全の川越の街づくりに向け「市民フォーラム」は取り組んでまいります。

なお、十九年度の調査費の収入は百七十六万二千六百一十一円、支出は、資料作成費に七十六万六千三百九十九円、資料購入費に十九万二千八百七十二円、広報広聴費に五十二万七千七百円をあて、残金の二十七万三千三百八十円を返還致しました。

その他経費とは・・・上記以外の経費で調査研究活動に必要な経費として、議長が認めた場合のみ、その都度必要に応じて支出します。

